

たかさう 連携だより

地域の先生方と
高崎総合医療センターを結ぶ



2023年発行
第195号

4月号



新年度のご挨拶 2

院長 小川 哲史

統括診療部長就任のご挨拶 3

統括診療部長 伊藤 郁朗

地域連携症例検討会 消化器内科・外科 4~5

外科部長 坂元 一郎

看護相談外来のご紹介 6

緩和ケアニュース 7

医療機器共同利用のご案内 8

臨床検査科だより 9

異動医師のご紹介 10

地域医療連携登録医のご紹介 11

セカンドオピニオンのご案内 12~13

外来診療担当表 14~15

院長閑話 16

●地域医療支援病院 ●がん診療連携拠点病院

独立行政法人国立病院機構
高崎総合医療センター



〒370-0829 群馬県高崎市高松町36
代表 (TEL) 027-322-5901
URL <https://takasaki.hosp.go.jp/>

地域医療支援・連携センター(医療機関専用ダイヤル)
(TEL) 027-322-5835
(FAX) 027-322-5925

【理念】

患者さんから信頼される病院を目指します

【基本方針】

- 常に患者さん本位の医療を心がけます
- 研鑽に励み、安全で良質な医療を提供します
- 医療連携を積極的に推進し、地域医療に貢献します
- 良き医療従事者の育成に努めます
- 臨床研究を推進します
- 健全な病院経営を行います

【看護の理念】

人間の尊厳を大切にし、専門的な知識、技術を持ち、心のこもった看護を提供します

【患者さんの権利を守ります】

- 誰でも良質で安全な医療を受ける権利があります
- 患者さんの人格や価値観が尊重され、医療提供者との相互協力のもとで医療を受ける権利があります
- 病気、治療等について、十分な説明を受ける権利があります
- 他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります
- 病気等について十分な説明を受けたうえで、自分の意志で検査や治療方法を選択したり、他の医療機関を選択する権利があります
- 医療情報に関する個人のプライバシーが守られる権利があります

新年度のご挨拶

—地域医療のさらなる充実を目指します—



独立行政法人国立病院機構
高崎総合医療センター

院長 小川 哲史



今年の春はWBCで侍ジャパンが優勝し、また3年以上に及んだコロナ禍もようやく収束に向かいつつあり社会全体に明るい兆しが見えてきました。地域の先生方には2022年度もコロナ禍とはいえ多数の患者さんをご紹介いただき、ありがとうございました。おかげさまで1年間の紹介患者数は15,830名、新入院患者数は13,626名、救急車搬送件数は6,268件、手術件数は4,695件で、各々、過去最高例数で、当院の使命である地域の急性期中核病院として役割を何とか果たせたと自負しております。本年度も昨年度に増して高度医療における地域連携と救急医療の充実にも努める所存です。

まず、診療体制の整備、医師の確保として、4月から救急科で2名、形成外科で1名など、いくつかの診療科で医師を増員しました。診療の充実とともに来年度からの医師の働き方改革も見据えた体制改革に努めていきます。また導入が遅れていたロボット手術をいよいよ開始します。初めに泌尿器科を中心に導入し、徐々に外科や産婦人科等へと適応を広げ、より侵襲の少ない手術、患者さんに負担の少ない手術や手技を目指します。

地域連携では、引き続き地域の先生方との連携強化に努め、特にITツール「メディマップ」等を活用して「かかりつけ医」への逆紹介を進めていきたいと思っております。またウェブによる連携学術セミナーや症例検討会などを「顔の見える連携」を基本としながらも、引き続き、遠方の方も参加しやすいウェブ形式での開催を予定しています。そして本年こそコロナ禍で中止していた登録医の先生方との懇親の会を開催できればと思っております。今後とも当院のホームページを充実し、昨年から導入したフェイスブック等を活用して当院の最新の情報を発信し、地域の先生方、患者さんやご家族、住民の方々に身近な病院に感じてもらえるよう心掛けていきます。

本年度も高崎市・安中市などの行政や医師会等の地域医療機関と協力しながら、市民の方々の命と健康を守るため職員一同、努力していきます。ご支援、ご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

統括診療部長 就任のご挨拶

統括診療部長
伊藤 郁朗



2023年4月1日付けで、統括診療部長を拝命した伊藤です。当院には、2001年に産婦人科医長として赴任し、高崎市を中心とした西毛地区の婦人科腫瘍を中心に診療に携わってきました。2009年新病院のオープン後は、NICUも整備され群馬県から地域周産期センターの指定を受け、周産期救急など母体搬送の受け入れも行ってきました。近年の新型コロナウイルス感染症の流行後は、県内で分娩可能な5施設の一つとして多くの患者さんの受け入れも行いました。これらの仕事を行えたのも、地域の先生方や医療従事者、院内外各所の協力あっての賜物で深く御礼申し上げます。

5月には新型コロナウイルス感染症も感染症法上の分類が5類となり、withコロナの中での診療が必要となることが予想されます。また、2024年度からの医師の働き方改革を見据えた診療体制の構築が必要となります。連続勤務時間の制限なども含めた当直体制の見直しなどの検討を開始しています。当院では以前から医療事務補助作業員や診療看護師の導入によるタスクシフトや女性医師の働きやすい環境構築なども行ってきました。さらに、多職種によるチーム医療の推進や、複数医師による受け持ち制などでも医療者の働き方改革を進めています。これらを行っても医療法で求められる働き方改革の達成はなかなか大変ですが、地域の皆様から期待される救急医療や高度医療の提供はこれまで通りできるように体制を維持し整えていきます。また、ロボット手術の導入もほぼ決まり、泌尿器科、消化器外科、呼吸器外科、産婦人科などでこの低侵襲手術の導入が順次予定されています。このような変革の時期に統括診療部長に就任することになり身の引き締まる思いです。医師会の先生方や多職種の医療従事者、行政の方々、市民の皆様のご協力、ご支援なしでは乗り越えられない課題ばかりです。

還暦を迎える年にこのような重責を担うことになりましたが、初心に立ち返り誠心誠意職務に励む所存です。今後ともよろしくご挨拶申し上げます。

消化器内科・外科領域疾患の 診断と治療の連携



外科部長
坂元 一郎

地域連携症例検討会に多くの登録医の先生方にご参加いただき、ありがとうございました。

2020年からのコロナ禍で、一時診療制限もありましたが、地域の先生方に多くの患者さんをご紹介いただき、消化器病センターの患者さんは年々増加しています。深く感謝申し上げます。

当院では、患者さんに最適な治療を安全に受けていただくため、消化器病センターとして消化器内科・外科

の外来・入院病棟を一体化し、症例検討・情報交換を密に行うとともに、スタッフも消化器疾患の経験を積み重ねています。また、精査・治療の検討時から患者サポートセンターで、看護師、薬剤科、栄養科、リハビリ科、MSWなど多職種で評価、支援を行っています。診療方針については、原則的に各種ガイドラインに則りつつ、併存疾患などの背景を踏まえ、患者さんごとに相談しています。

今回、消化器内科・外科が協力して診療した患者さんを、領域別に1例ずつ検討しました。

症例 1

症例1は、巨大肝腫瘍で、副腎転移・下大静脈浸潤・横隔膜浸潤が疑われる肝細胞癌の患者さんでした。初診時は手術適応外でしたが、新規の薬物療法で腫瘍の縮小を得て外科的切除を行った Conversion 手術症例です。腫瘍の大きさや周囲臓器浸潤から非常に難易度の高い手術で、体外循環もスタンバイし手術に臨みました。下大静脈は剥離可能でしたが、横隔膜浸潤のため同部を合併切除、メッシュで閉鎖しました。



手術適応の検討では、腫瘍の遺残がない肝切除と、術後の残肝機能維持を両立するようシミュレーションしています。術前の経皮経肝門脈塞栓術や術中の肝血流コントロール（肝十二指腸間膜・下大静脈テーピング）などの手技も駆使し、治療の安全性を確保しています。従来、肝細胞癌で Conversion 手術を行えることは稀であり、今後の治療選択の可能性が広がる経過でした。



症例 2

症例2は、高度肥満のある胃がん患者さんでした。術前診断は粘膜下層浸潤疑いの低分化腺癌・印環細胞癌で、ガイドラインでは内視鏡治療の適応外でした。ご紹介いただいた先生も、当院消化器科・外科の検討でも、外科的切除・郭清を推奨しましたが、患者さんの強い希望で診断的治療としてESDを行いました。病理組織検査結果は垂直断端陽性で、腹腔鏡下幽門側胃切除・郭清術を行いました。遺残のない切除ができましたが、病理所見で漿膜下層までの浸潤を認めました。

患者さんの意向に沿って、また麻酔・手術が高リスクであることも踏まえ、段階的な治療となりましたが、術前診断・治療選択の難しさを学びました。



症例 3

症例3は、大腸狭窄で緊急入院された下行結腸がんの患者さんでした。閉塞性腸炎から重篤化の危険があり、消化器科で緊急の腸管減圧処置として、大腸ステントを挿入しました。その後の経過は良好で経口摂取もできるようになりました。外来で栄養療法など手術準備を行い、待機的に腹腔鏡下左半結腸切除術を行いました。以前、ステント治療には再発が多いとの懸念がありましたが、近年では問題ないとの見解が広まっています。当院では、患者さんの負担が少ないステント治療を第一選択に、腸管洗浄を要する場合などには経肛門減圧チューブを挿入し、体調が安定した時期の根治手術を目指しています (Bridge to Surgery)。

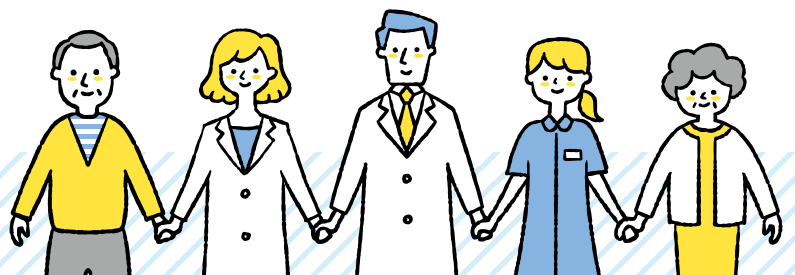
大腸閉塞では、腸管壁が脆弱になっており、閉塞性腸炎や穿孔の併発が疑われる場合には緊急で人工肛門造設術を要します。症状のない患者さんでも、狭窄がある場合、急ぎ対応しますので、ぜひご紹介ください。



症例検討では、ご参加いただいた先生方から、低侵襲手術の適応や内視鏡検査の前処置などについてご質問やアドバイスをいただきました。今年は念願のロボット手術も導入予定です。今回の検討会や日々の診療で患者さんから学んだことを活かし、さらに診療の向上を目指していきます。

消化器疾患では、疾病の進行や術後の臓器機能低下に伴う排便障害や貧血、栄養障害もあり、患者さんが安心して生活できるよう、かかりつけ医の先生方には引き続きご支援いただければ幸いです。また、患者さんの病状に変化があった際には、ぜひお知らせください。消化器病センターのほか、NST外来など専門多職種と協力して診療いたします。

現在、消化器病センターには、専攻医を含め20名を超える医師が勤務し、研鑽に努めています。至らぬ点多々あるかと思いますが、登録医の皆さんと協力し、地域の患者さんのお役に立ちたいと考えておりますので、今後ともご指導のほどお願い申し上げます。



看護相談外来 のご紹介

がん看護専門看護師 清原文



本年2月より
開設いたしました
「看護相談外来」
をご紹介します

「病に苦しむ患者さんやご家族を看護の力で支えたい」という思いから、昨年春より準備を進め、本年2月より「看護相談外来」を開設いたしました。高崎総合医療センターの「看護相談外来」は、各分野の専門的な知識・技術をもった看護師が、その専門性を発揮し、患者さんとそのご家族の様々な悩みや不安に寄り添い、病とともに自分らしく生きていけるよう支援していくための看護師主体の外来です。

近年、医療はますます複雑化・高度化し、同じ病気でも患者さんによって治療法が異なることもあります。限られた時間で、複数の治療から自分にとっての最善の治療を選択することは患者さんやご家族にとっても大きな負担となることも少なくありません。また、入院日数も短縮化され、治療の場は外来へ、療養の場は在宅へと移行しています。このような医療情勢の中、今後ますます私たち看護師の力を発揮する機会が増えてくると感じています。

治療の選択、仕事と治療の両立、お子さんやご家族との関係や、治療による外見の変化への対応など、患者さんが病と共存するためには不安や悩みが尽きません。そのような中で、不安な気持ちを少しでも誰かに打ち明け、ほっと一息つくことで気持ちが軽くなり前に進む力を取り戻すことができるのではないのでしょうか。「看護相談外来」は、患者さんやご家族と、病とともに生きる「今とこれから」を一緒に考えていく場でありたいと思っています。

現在は、がん分野の専門看護師・認定看護師が活動を担当していますが、当院には2分野3名の専門看護師と9分野18名の認定看護師がそれぞれの分野で自身の専門性を活かした看護を提供しております。今後は「看護相談外来」も様々な分野に活動を拡大していきたいと考えています。当院に来院の際は、どうぞお気軽にご利用ください。

看護相談外来

開設日：毎週木曜日
13:00～16:00
(1回30分～1時間程度)



場所

別館2階
通院治療センター内の
診察室

対象

当院に通院中の患者さんと
そのご家族

費用

相談は無料
(相談内容によって別途
料金がかかる場合があります)

予約方法

担当医や看護師に看護相談
外来の予約希望をお伝えく
ださい

緩和的 放射線治療

ってなに？

緩和ケア ニュース

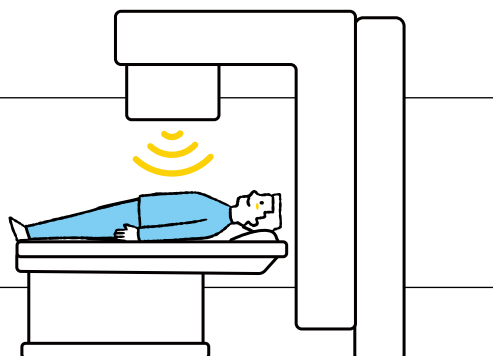
がん診療連携拠点病院 緩和ケアチーム

緩和的放射線治療とは

痛みをはじめとする症状の改善や QOL（生活の質）の向上を目的として行われる放射線治療のことを指します

どんなことをするの？

治療台にあおむけで横になって治療します
治療にかかる時間は1回あたり10～15分程度
治療回数は患者さんの状態に合わせて決定します



治療が役に立つケース

骨への転移による痛みを和らげます

約60～90%の患者さんで痛みの緩和が期待できます

脊椎（背骨）へ腫瘍が転移した際に起きる痛みや麻痺を改善します

脊椎（背骨）へ転移した腫瘍により脊髄（神経）が押され

痛み・麻痺を引き起こします

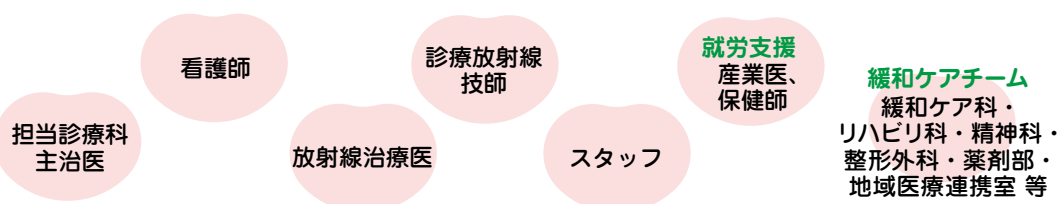
麻痺の症状が出てから早期に治療を開始したほうが効果が期待できます

上記以外にも脳転移、腫瘍からの出血、腫瘍による気道・血管・食道の狭窄の症状にも効果が期待できます

緩和ケアチームや放射線治療医・看護師・診療放射線技師など様々なメンバーで緩和的放射線治療を支えています。

気になる症状等あれば主治医へご相談ください。

緩和的放射線治療を支える人たち



医療機器共同利用

のご案内

当センターで保有しています医療機器を、地域の医療機関の先生方にもご利用いただけます。患者さんの診療および治療にお役立てください。

その症状、「骨粗しょう症」かも…

骨密度測定

のすすめ

骨粗しょう症って？

骨粗しょう症というのは、骨が弱くなり、骨折の危険が高まる骨格の病気です。また、骨密度が減っていても、ほとんど自覚症状はありません。ただ骨粗しょう症がもとで骨折して初めて、痛みを感じたり、背中が曲がったり、寝たきりになったり、日常生活に支障を来し易くなります。

また、女性は男性と比較して骨量が少なく、閉経後にはホルモンバランスが崩れて骨密度が低下し、骨粗しょう症のリスクが高くなる傾向があります。

予防・治療は出来るの？

- 現在、予防・診断や治療のための技術や治療薬が進歩しています。
- 早い段階で骨密度の状態を把握することで、運動療法や食事療法なども取り入れ、良い効果が上げられてきた実績があります。

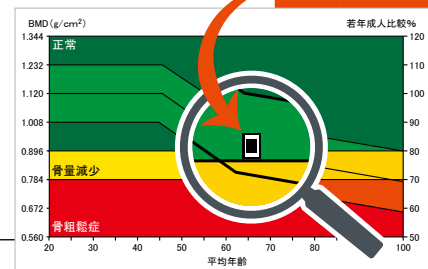
どうすればいいの？



- 問診や骨密度測定を行い、骨密度を把握しましょう。
- 骨折すると日常生活に影響を与える腰椎や大腿骨の骨密度を測定します。
- 当センターで行う骨密度測定には微量のX線を用います。骨密度検査で受ける被ばくは胸部X線検査より少ない量です。
- 測定は、ベッドに仰向けに寝ていただき約10分ほどです。検査に伴う痛みなどはありません。

検査結果について

結果の評価は、日本骨粗鬆症学会等で決められており、若年成人平均値（成人男女の骨が丈夫な人たちの平均値）からどれくらい下がっているかで、評価されます。



お問い合わせ先

高崎総合医療センター内
地域医療支援・連携センター

TEL 027-322-5835

FAX 027-322-5925



第73回 臨床検査科だより



血圧検査

～応用編～

前回、血圧の基本をお伝えしました。今回は当院で行っている血圧を応用したABI（足関節上腕動脈血圧比）検査（+CAVI）について説明していきます。

ABI検査は下肢動脈の狭窄・閉塞の程度を評価する指標です。上腕の高い側の収縮期血圧で両足首の収縮期血圧を除いて計算されます。ABIは非侵襲的な検査で数値として評価でき、PAD（末梢動脈疾患）患者の早期発見に有用です。PADは、心血管疾患や脳血管疾患など他臓器障害との合併が多く見られることから、早期発見が重要です。喫煙歴、糖尿病、高血圧の方はPADのリスクが高まります。

●ABI基準値（2011年ACC/AHA基準）

$1.41 \leq \text{ABI}$	足首の血圧が高めです
$1.00 \leq \text{ABI} \leq 1.40$	正常範囲です
$0.91 \leq \text{ABI} \leq 0.99$	正常範囲ですが境界領域です
$\text{ABI} \leq 0.90$	末梢動脈疾患の疑いがあります

CAVIは大動脈を含む「心臓から足首まで」の動脈の硬さを反映する指標です。血管壁が厚かったり硬かったりすると動脈壁の弾性力がなくなり、脈波が血管壁に吸収されません。そのため動脈硬化が進行するほど脈波の伝わる速度が早く、CAVIは高い値となります。

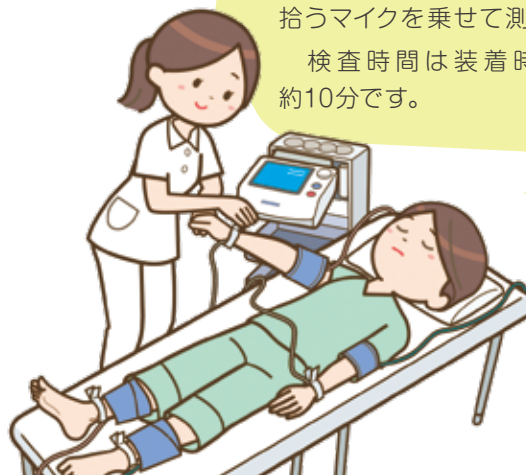
●CAVIの基準値

$\text{CAVI} < 8.0$	正常範囲
$8.0 \leq \text{CAVI} \leq 9.0$	境界域
$9.0 \leq \text{CAVI}$	動脈硬化が疑われる

大動脈の進展性の低下は心疾患の発症や予後を規定する因子となることが知られており、早期診断と管理に役立ちます。

実際の検査は両手（上腕）、両足（足首）の4か所に血圧計を巻き、手首に心電図電極、胸に心臓の音を拾うマイクを乗せて測定します。

検査時間は装着時間を含めて約10分です。



※人工透析を行っている方のシャント側の上腕血圧は測定できません。

ベッド上仰臥位にて行う検査になります。車椅子など座位での体勢は結果に影響がでるため検査できません。また厚手の服や四肢を締め付けるような服では血圧が変化してしまうため、脱いでいただきます。

人によっては血圧測定の締め付けにより痛みを伴う場合がありますが、検査中は動いたり声を出したりしないでください。

体の血管を調べる検査にはほかに頸動脈エコーや下肢動脈エコーがあります。CAVI検査との大きな違いは、画像によって動脈の状態を目で確認、評価することができる点です。いずれの検査にも特徴があるため患者さんそれぞれによって選択されます。次回は頸動脈エコーについて詳しく説明していきます。

異動医師のご紹介

当センターの医師の異動をお知らせします。

医師採用者

(4月1日付 採用)

診療科	氏名
消化器内科	相原 幸祐
呼吸器内科	竹村 仁男
	小林 頂
心臓血管内科	石橋 洋平
内分泌代謝内科	植原 良太
神経内科	柴田 真
	外科
整形外科	大島 淳文
救急科	村田 将人
	森 瑞樹
産婦人科	周藤 周
麻酔科	齋藤 保雅
歯科口腔外科	田中 斉
	渡邊 真央
放射線科	山本 裕也
小児科	小笠原 聡
	齋藤 淑人

専攻医：期間職員

消化器内科	田村 優樹
	小林 倫太郎
	廣田 堇
呼吸器内科	星野 裕紀
心臓血管内科	瀬田 博貴
内分泌代謝内科	倉林 理紗
神経内科	唐澤 将紀
	外科
脳神経外科	高橋 健太郎
整形外科	都築 俊平
形成外科	角田 彩
泌尿器科	廣神 佑香子
産婦人科	塚田 蓉子 (旧姓：横山)
皮膚科	荒木 健
小児科	田口 未奈
	前原 孝奎
	東野 允奎
放射線治療科	弓崎 晃

医師転出者

(3月31日付 異動・退職)

診療科	氏名
消化器内科	都丸 翔太
	成清 弘明
	古澤 愛
呼吸器内科	板井 美紀
	黒岩 裕也
	神山 花凜
心臓血管内科	小林 洋明
	大駒 直也
内分泌代謝内科	植原 正也
	新井 茉莉
神経内科	菊池 雄太郎
脳神経外科	中村 俊介
整形外科	齋藤 健一
	加地 卓万
泌尿器科	石尾 典子
産婦人科	大枝 涼平
	峰村 成
皮膚科	西尾 麻由
小児科	永井 裕介
	坂本 康大
	柴塚 拓巳
	御任 紫野
麻酔科	大川 牧生
歯科口腔外科	薬師寺 孝典
	木村 将典
放射線治療科	大高 建
放射線診断科	渡邊 華帆
外科	岡田 幸士
	田中 成岳
	牛久保 陸生
精神科	中野 俊之

新任医師については
順次紹介いたします。



地域医療連携登録医のご紹介

地域医療連携登録医の皆さまとパートナーシップを組んで診療に取り組んでいます。

武山クリニック

院長あいさつ

当院では皆様の立場に立って診療させていただくことを心がけております。症状をしっかりお聞きし、診療方針なども納得いただけるまでご説明いたします。地域医療に貢献し、「安心できる」「信頼される」「気軽に相談できる」ホームドクターとしての役割を果たします。

武山クリニック
院長
武山 英美



診療科・病院案内

**外科・胃腸科・内科・脳神経外科
頭痛外来・もの忘れ外来・乳腺甲状腺外来**

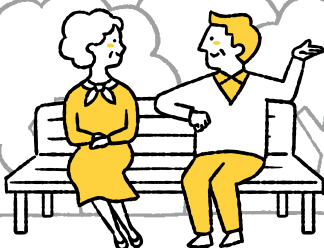
診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(9:00~13:00)	●	●	●	●	●	●	△
午後(15:00~17:30)	●	△	△	●	●	△	△

※ 武山理事長の診察日…火曜日・第1、3、5土曜日

群馬県高崎市栄町18-4武山ビル1F TEL:027-322-7027

当院は、外科・内科・胃腸科・脳神経外科・頭痛外来・乳腺外来・甲状腺外来を専門とするクリニックです。身体の不調を感じているが何科を受診したらいいかわからない時や、健康診断の結果を相談したい、など健康に不安のある時にもお気軽にご相談ください。

また、軽微な外傷や火傷の治療、労災も取り扱っております。高崎市や入職時など各種健康診断、風疹や肺炎球菌、インフルエンザの予防接種も行っておりますので随時お電話にてお問い合わせください。



セカンドオピニオンのご案内

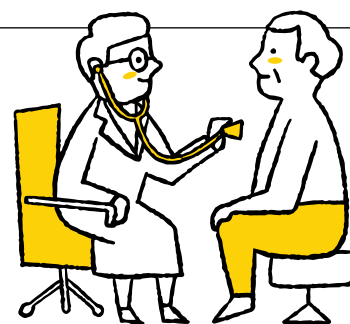
当センターではセカンドオピニオン外来を実施しております。
概要につきましては以下のとおりです。

01 対象患者さん

- 現在当センター以外の医療機関で診療を受けている患者さん、ご家族
- 現在の主治医（他医療機関）の診断及び治療方針について、当センター医師に参考意見を求め、患者さんご本人が自らの疾患をより理解し適切な診療を選択する等の為に、セカンドオピニオン外来の活用を望む方
- 主治医（他医療機関）からセカンドオピニオンを目的とした紹介状及びフィルム等の検査資料を当院に提供可能な患者さん、ご家族であることを要します（主治医にセカンドオピニオンを受けるための紹介状等をお願いすれば対応してもらえます）
- 相談者をご家族の場合は、原則として患者さんの同意を得た場合といたします

02 実施診療科 【各科の専門医が対応いたします】

内科、精神科、呼吸器内科、消化器内科、心臓血管内科、
小児科、外科、乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、
脳神経外科、呼吸器外科、産婦人科、泌尿器科、
眼科、放射線診断科、放射線治療科、歯科口腔外科



予約方法

完全予約制 代表電話：027-322-5901

※代表にお電話を頂き、『セカンドオピニオン係』とお申し付け下さい

【受付時間】 月曜～金曜 8時30分～17時の間

※精神科の受付時間は **月曜～金曜 8時30分～12時迄** となります

※事前にご予約電話を受け付け、担当専門医と日程調整を行った後に折り返し
当センターより連絡させていただきます

外来時間

セカンドオピニオン外来時間（診療科によって曜日は異なります）

月曜～金曜 13時30分から15時30分の間で調整

費用

30分以内 5,500円（消費税込み）

30分以上 11,000円（消費税込み）

セカンドオピニオンとは

セカンドオピニオンとは現在の自分の病状や治療方針について他の医師の意見を求めることをいいます。

医療が進歩してさまざまな治療法が生まれています。

その結果、医師によって病気に対する考え方が違うことや、病院によって医療技術や診療の質に差があることも考えられます。治療法について具体的な比較ができ、より適した治療法を患者さん自身が選択することができます。

当センターでは、よりよい治療法を患者さん自身が選択できるように、セカンドオピニオンを積極的に勧めしております。

セカンドオピニオン 外来担当表

科 名	医師名	専 門	曜 日
内 科	佐藤 正通	内科全般、血液内科	火
精 神 科	井田 逸朗	がんのメンタルヘルス	木
呼 吸 器 内 科	中川 純一	呼吸器全般	火、金
消 化 器 内 科	長沼 篤 増田 智之	消化器病一般、肝臓病 食道、胃、大腸	随時
心 臓 血 管 内 科	広井 知歳 太田 昌樹 福田 延昭	狭心症・心筋梗塞の治療（カテーテル治療） 不整脈一般 心不全、弁膜症	金 水 木
小 児 科	五十嵐 恒雄	小児科全般・未熟児・新生児	水
外 科	坂元 一郎 家田 敬輔 平井 圭太郎 宮前 洋平	消化器外科全般 上部消化管 肝臓、胆のう、膵臓 下部消化管	水 水 水 水
乳 腺・内 分 泌 外 科	鯉淵 幸生 高他 大輔	乳がん全般・甲状腺外科 乳がん全般・甲状腺外科	随時 随時
心 臓 血 管 外 科	小谷野 哲也	心臓血管の外科治療	火、木、金
呼 吸 器 外 科	伊部 崇史 高坂 貴行	肺がん、縦郭腫瘍、呼吸器外科全般 肺がん、縦郭腫瘍、呼吸器外科全般	木 火
脳 神 経 外 科	田中 志岳 笹口 修男 佐藤 晃之	脳腫瘍 水頭症、脳外科一般 血管障害	月 木 金
産 婦 人 科	伊藤 郁朗	婦人科腫瘍	月、火、金
泌 尿 器 科	柴田 康博	泌尿器科全般	火
眼 科	土屋 明	眼科全般（眼腫瘍を除く）	水、木
放 射 線 診 断 科	根岸 幾 佐藤 洋一	画像診断CT・MR中心 画像診断CT・MR中心	木 火
放 射 線 治 療 科	永島 潤	悪性疾患の放射線治療	
歯 科 口 腔 外 科	稲川 元明 柴野 正康	口腔顔面痛 口腔外科全般、顎変形症、インプラント	火、水、木、金 月、火、木、金

外来診療担当表

当センターは、地域医療支援病院として運営しております。
かかりつけ医の先生からの紹介状をご持参願います。

	月	火	水	木	金
総合診療科・内科	佐藤 正通 飯塚 堯	佐藤 正通 植原 大介	(真下 大和) 予約のみ	佐藤 正通 飯塚 堯 (合田 史) 午後：予約専門外来	佐藤 正通 植原 大介 予約のみ
栄養食事指導外来		佐藤 正通 午後			
内分泌代謝内科	渋沢 信行	倉林 理紗 (植原 正也)	植原 良太 倉林 理紗	渋沢 信行 午後	渋沢 信行 植原 良太
神経内科	椎名 葵 (池田 雅美) 午前	平柳 公利	平柳 公利 初診のみ (唐澤 将紀)	柴田 真	清水 一輝
呼吸器内科	中川 純一 (星野 裕紀) 午前	細野 達也 内田 恵	田口 浩平 小林 頂	中川 純一 竹村 仁男	細野 達也 内田 恵
消化器内科	長沼 篤 安岡 秀敏 上原 早苗 相原 幸祐 (石原 弘) (廣田 堇) 午後	星野 崇 鈴木 悠平 佐野 希望 相原 幸祐 午前	柿崎 暁 安岡 秀敏 増田 智之 増田 智之 鍋木 琢也 (石原 弘) (小林 倫太郎) 午後	長沼 篤 増田 智之 鈴木 悠平 古市 望 午前	星野 崇 佐野 希望 田村 優樹 (小林 倫太郎) (廣田 堇) 午前
上部内視鏡検査	星野 / 増田 / 田村	安岡 / 増田 / 古市	上原 / 佐野 / 相原	上原 / 佐野 / 相原	長沼 / 鈴木 / 鍋木
心臓血管内科 (循環器)	太田 昌樹 村田 智行 瀬田 博貴 第1, 3週午前	石橋 洋平 高橋 伸弥 午前	広井 知歳 太田 昌樹 羽鳥 直樹 午前	福田 延昭 高橋 洋右 千吉良 彩花 第1, 3週午前 第2, 4週午前	太田 昌樹 小林 紘生 柴田 悟 午前
新患外来(午前)	高橋 伸弥	柴田 悟	村田 智行	羽鳥 直樹	石橋 洋平
心不全予防外来		第2, 4週午後			
精神科	井田 逸朗 山崎 雄高 午前	井田 逸朗 山崎 雄高 午前	井田 逸朗 山崎 雄高 午前	井田 逸朗 山崎 雄高 午前	井田 逸朗 山崎 雄高 午前
小児科	五十嵐 恒雄 内田 亨 (荒川 篤康) (田口 未奈) (前原 孝) 午後	五十嵐 恒雄 倉田 加奈子 斎藤 淑人 (神尾 綾乃) 第4週午後	五十嵐 恒雄 倉田 加奈子 佐藤 幸一郎 (滝沢 琢己) <乳児健診> 午前	倉田 加奈子 植原 実紅 東野 允奎 (西澤 拓哉) (岩脇 史郎) 午後	五十嵐 恒雄 佐藤 幸一郎 小笠原 聡 (浅見 雄司) 午後は第1, 2, 4, 5週のみ 第3週午後のみ
小児外科		(西明・高澤慎也) 第4週午後	(西明・高澤慎也) 第1, 3週午後		
外科 (消化器)	坂元 一郎 斉藤 秀幸 午前：通常 / 午後：肝胆脾専門外来 午前：通常 / 午後：食道専門外来	小川 哲史 星野 万里江 小川 哲史 午前	家田 敬輔 生方 泰成 午前：通常 / 午後：上部消化器専門外来	平井 圭太郎 井田 晃頌 午前	宮前 洋平 齊藤 裕紀乃 午前
栄養サポート外来		小川 哲史 午後			
禁煙外来					
ストーマ外来			第2, 4週午後・予約	予約	
泌尿器科	井上 雅晴 栗原 聰太 午前	栗原 聰太 柴田 康博 午前	交代制	柴田 康博 井上 雅晴 午前	交代制

01 外来診療受付時間

8:30~11:00迄

(予約の場合は最終予約時間まで)

※再来受付機は8:00から受付しています

- 紹介状をお持ちの方、紹介事前予約の方は、1番：紹介状をお持ちの方・地域医療連携窓口で受け付けております。
- 当センター受診にはかかりつけ医の先生からの紹介状をご持参ください。紹介状をお持ちでない方は、診察をお受けできない場合や、長時間お待ちいただく場合がございます。
- 受診時にはお薬手帳、薬剤情報提供書または飲んでいるお薬をご持参ください。

02 休診日

土、日、祝日、年末年始

- 学会等により、休診または医師が交替する場合があります。院内掲示をご覧ください。

地域医療支援・
連携センターから
地域の先生へお願い

当センターへの紹介の際は、
地域医療支援・連携センターを通した
事前予約にご協力下さい。

令和5年4月1日現在

	月	火	水	木	金
疼痛緩和内科 看護相談外来	田中俊行	田中俊行	田中俊行	田中俊行	田中俊行
乳腺・内分泌外科	鯉淵幸生 午前 徳田尚子 午前 成澤瑛理子 午前	鯉淵幸生 午前 高他大輔 午前 徳田尚子 午前 成澤瑛理子 午前	鯉淵幸生 午前 高他大輔 午前 徳田尚子 午前	(荻野美里) 第2,4週午後 (田邊恵子) 第1,3,5週午後 交代制 午前・予約	高他大輔 午前 徳田尚子 午前 成澤瑛理子 第1,3,5週午前 第2,4週午前
心臓血管外科	<手術日>	交代制 午後	<手術日>	小谷野哲也 午前 羽鳥恭平 午後	茂原淳 午前
呼吸器外科	<手術日>	伊部崇史 高坂貴行	<手術日>	伊部崇史 高坂貴行	<手術日>
整形外科	荒毅 信太晃祐 遠藤史隆	大澤敏久 大島淳文 都築俊平	荒毅 信太晃祐 一ノ瀬剛 都築俊平	新井厚 午後 遠藤史隆 <手術日>	大澤敏久 一ノ瀬剛 大島淳文
形成外科	交代制 <手術日>	中村英玄 午後 角田彩	中村英玄 午前 角田彩 午後	<手術日> 角田彩 午前	中村英玄 午前 <手術日> 午後
脳神経外科	田中志岳 (井上千鶴) 午前	齋藤貴寛 <手術日>	<手術日> 上原顕仁 午前	笹口修男 <手術日>	佐藤晃之 上原顕仁 午前 荒木健 午前
皮膚科	伊藤郁朗 黒住未央 東杏莉	青木宏 黒住未央 周藤周	<産後健診>	(金井眞理) 午前 (塚田蓉子) 午前	伊藤郁朗 青木宏 東杏莉
産婦人科	遺伝性腫瘍外来			伊藤郁朗	
眼科	土屋明 紹介・予約	土屋明	土屋明	土屋明	土屋明
眼形成眼窩外科	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎
耳鼻いんこう科	高橋克昌 岡宮智史	岡宮智史	<手術日>	高橋克昌	高橋克昌 岡宮智史 午前
放射線治療科	永島潤 (弓崎晃)	永島潤 (弓崎晃)	永島潤 午前 大高建 (弓崎晃)	永島潤 (弓崎晃)	永島潤 (弓崎晃) 富澤建斗 午前
歯科口腔外科	柴野正康 紹介・予約	<手術日>	田中斉 紹介・予約	柴野正康 紹介・予約 田中斉 紹介・予約	<手術日>
新患外来	田中斉 紹介・予約		柴野正康 紹介・予約	交代制	
歯科(歯科麻酔) 摂食嚥下・口腔ケア外来	稲川元明 第1,3,5週のみ、紹介・予約 渡邊真央 紹介・予約 倉持真理子 紹介・予約	稲川元明 紹介・予約 倉持真理子 紹介・予約 (荒井亮・辻野啓一郎) 第2,4週のみ、紹介・予約	稲川元明 紹介・予約 渡邊真央 紹介・予約 倉持真理子 紹介・予約	稲川元明 紹介・予約 渡邊真央 紹介・予約	稲川元明 紹介・予約 倉持真理子 紹介・予約

()の医師は非常勤です。

03 予約について

当院は「医療機関からの紹介患者事前予約制」をとらせていただいております。

医療機関様にはお手数をおかけしますが、予約の際には「事前予約申込書」に必要事項を記載し、地域医療支援・連携センターへFAXにてご依頼ください。折り返しお電話で予約日時の連絡をさせていただきます。

※分娩希望についてはこの限りではありません。

※心臓血管内科は平日8:30~11:00までに紹介状を持参のうえ来院していただきますと当日受診が可能です。

※消化器内科で早めの対応が必要な患者さんは平日11:00~15:00までに紹介状を持参のうえ来院していただければ対応させていただきます。(予定での紹介が可能な患者さんは地域医療支援・連携センターを通しての予約をお願いします。)

04 連絡先

高崎総合医療センター内 地域医療支援・連携センター

医療機関専用ダイヤル: 027-322-5835 《平日 8:30~18:30 / 土曜日 8:30~17:15》

FAX: 027-322-5925 《FAXは24時間受け付けています。お返事は翌営業日になります》

院長閑話

vol.23

オータニさんと栗山監督の サーバントリーダーシップ

院長 小川 哲史



WBC、日本が優勝しました！準決勝、決勝とすごいドラマで、いまだにその興奮が冷めやらず、まさにWBCロスの状態です。大会を通してのMVPは大谷翔平選手で、奇跡、異次元、超人、宇宙人、どんな表現も過剰じゃないと、その活躍に改めて感動しました。

昔の野球、特に「巨人の星」で育った栗山監督も含めた私たちの世代では、野球というと千本ノックに代表される「血の汗ながせ、涙をふくな」の世界で、精神的にも肉体的にも不合理だがそれに耐えてこそ一流になれる。そして試合では野球を楽しんでいるというより、「負けたら日本に帰れない」みたいな悲壮感さえ漂っていたような気がします。

しかし時代は変わりましたね！メキシコ戦の9回、先頭の大谷が二塁打を打ち、ベース上で「カモン！」と仲間を鼓舞する姿、トラウトをスライダーで三振に取った後の雄叫び、グラブと帽子を投げた一連の姿。これまでの日本人とは全く違う最高の格好よさで、半永久に再生される名場面ですね。今回の優勝は、これまでと違い日本野球のチマチマした感じ(!?)がなくて、米国と同じ土俵でがっぷり四つに組んでの優勝でした。WBC中、数々の名言もありました。スターぞろいのアメリカとの決勝戦前の円陣で、大谷がみんなに言った「きょう1日だけは彼らへの憧れを捨てて勝つことだけ考えていきましょう。憧れてしまったら彼らは超えられない。」話すタイミングや話し方も素晴らしく、人間性も素晴らしい大谷だからこそその名言でした。

プロ野球の名監督というと、野村克也氏や広岡達朗氏などが思い浮かびますが、プロ野球でも名将と言われる監督の特徴は、二人のように野球のみならず人生の教育者であったり、または星野仙一監督のように熱血指導型の過剰な人情家のイメージです。その指導はもちろん理論に基づくものですが、どちらのタイプも時には意識的に選手を罵倒したり皮肉を言ったり、そこから「なにくそ！」と這い上がる反発心の強い人は育つという、基本的には叱咤激励型、大和魂重視(!?)の指導だったと思います。

しかし、栗山英樹監督はこれまでの監督像とは全く違いました。現代の若者、特にいわゆるZ世代に適していると言われている指導法に「サーバント リーダーシップ」というのがあります。サーバントというのは、召使い、使用人という意味で、サーバント リーダーシップというのは、リーダーは部下に対して指示や命令するのではなく、部下の支援に徹し、奉仕した上で目標を達成できるように主体的な行動を促すという指導法です。これまでのように権威や権限、威光で引っ張っていくリーダーではなく奉仕するリーダーで、その特性として、傾聴、共感、癒し、気づき、説得、コミュニティづくりなどが挙げられています。これこそ正に栗山監督そのものです。これからは今までのような威厳があり近づきがたい監督は不人気で、ましてや熱血昂じて鉄拳指導！なんていうのは論外でしょう。栗山監督やサッカーの森保監督みたいなカリスマ性はないが親しみやすい、兄貴みtain監督、サーバント リーダーが必要とされる時代かも知れません。

私は個人的に広岡達朗氏が好きで、その考え方や生き方を尊敬しています。同氏は大谷選手の大リーグ行きには反対で、特に大リーグで二刀流が通用するはずがないと言っていました。しかしその後の想像を超えた活躍は、広岡氏の凡眼というより大谷のあまりにも異次元の才能と努力の結果です。時代も考え方も生き方も違うこの二人が、ともに愛読し生きる指針としているのが中村天風氏の教え、というのは実に不思議で面白いですね。

(4月3日)

Information

行事などのお知らせ

第35回地域連携症例検討会

内分泌代謝内科・乳腺内分泌外科の診断と治療の連携

日時：2023年5月16日(火) 18:45~20:00

演者：高崎総合医療センター

内分泌代謝内科部長 渋谷 信行

副院長(乳腺内分泌外科) 鯉淵 幸生

対象：医療従事者

高崎総合医療センターよりWEB配信

※申し込み必要

登録医の先生方からのご寄稿・ご意見をお待ちしております。
地域医療支援・連携センターまでご連絡をお願い致します。

電話 **027-322-5835** (医療機関専用ダイヤル)

ホームページより本冊子のバックナンバーをご覧頂けます

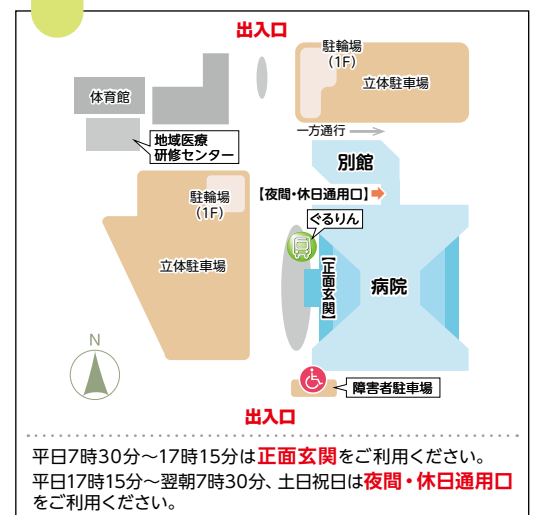
<https://takasaki.hosp.go.jp/kouhoubackno.html>

検索



高崎総合医療センター
公式 Facebook

高崎総合医療センター案内図



独立行政法人国立病院機構

高崎総合医療センター